

2021年12月23日

Okta Japan 株式会社

報道関係者各位

## 電子署名・電子契約サービス「WAN-Sign」が、 Okta の「Okta Integration Network」に登録

Okta Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：渡邊 崇）は、日本通運株式会社（代表取締役社長：齋藤 充）の子会社で情報資産管理のリーディングカンパニーである株式会社ワンビシャーカイブズ（代表取締役社長：佐久間 文彦 以下、ワンビシャーカイブズ）が提供する電子契約サービス「WAN-Sign（<https://www.wanbishi.co.jp/econtract/>）」が、アイデンティティ管理・認証基盤プラットフォーム「Okta Identity Cloud（<https://www.okta.com/jp/products/>）」と事前連携する 7,200 以上のアプリテンプレート群「Okta Integration Network（<https://www.okta.com/jp/okta-integration-network/>）」（OIN）に登録されたことを発表します。



WAN-Sign は、電子契約で締結した契約書の一元管理に加え、書面で交わした契約書の原本管理・保管から電子化作業までを一つのサービス内で提供できる電子契約・契約管理ソリューションです。今回、WAN-Sign が OIN に登録されたことにより、Okta Identity Cloud を利用する組織や企業の IT 管理者は、WAN-Sign との SAML 認証方式を利用したシングルサインオン（SSO）の設定作業を、数クリックで迅速に設定できるようになります。

組織や企業が業務で利用するクラウド型アプリの導入数が増えており、利用者への迅速なアプリ展開と安全なアクセスを提供することが IT 管理者に求められています。OIN への登録により、IT 管理者は、アプリを SSO に追加する作業時間のスピードと効率を大幅に向上することができます。

# Press Release



株式会社ワンビシャーカイズ 代表取締役社長 佐久間 文彦 氏は次のように述べています。

「ワンビシャーカイズは、Okta と WAN-Sign の SSO 連携が可能になったこと、『Okta Integration Network』に WAN-Sign が登録されたことを心より歓迎いたします。

お客様からは WAN-Sign の利用にあたり、不正アクセス防止機能によるセキュリティ強化、従業員によるパスワードの使いまわしによるリスク防止や ID 管理の効率化を強く求められており、14,000 社を超える企業から採用され、多くのお客様から支持を集めている Okta との連携は必須なものと考えています。

既に 7,200 以上のアプリケーションと連携が完了している『Okta Integration Network』に WAN-Sign が登録されることで、ユーザーの皆様のテレワークの推進に貢献できることと確信しております。」

Okta Japan 株式会社の代表取締役社長、渡邊 崇は、次のように述べています。「ワンビシャーカイズ様が提供する WAN-Sign は、脱ハンコを促進する国産の電子契約サービスとして幅広い業種で使われているツールですので、今回 OIN に登録されたことを大変嬉しく思います。WAN-Sign が OIN に登録されたことで、Okta Identity Cloud を利用する企業の IT 管理者の方は、WAN-Sign との SSO 連携を簡単かつ迅速に実現できるようになります。今後 Okta 経由での WAN-Sign の利便性が向上することを心から期待しております。」

現在、Okta Japan では、国内のソフトウェア開発ベンダー（ISV）製アプリケーションの OIN への登録を促進するプログラムを展開しています。詳細については以下をご覧ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000063011.html>

## WAN-Sign について

<https://www.wanbishi.co.jp/econtract/>

ワンビシャーカイズが提供する電子契約サービス「WAN-Sign」は、GMO インターネットグループの「電子印鑑 GMO サイン」（GMO グローバルサイン・ホールディングス提供）（※1）と GlobalSign 認証局・電子署名（GMO グローバルサイン提供）を技術基盤としています。内部統制やセキュリティ機能などを強化・追加拡張し、書面契約書および電子契約によって締結した契約書の一元管理を実現しました。さらに、書面契約書の原本管理・保管から電子化を一つのサービス内で提供できます。他にはない独自サービスの電子契約・契約管理ソリューションです（特許番号：特許第 6898416 号）。大手企業や金融機関・政府系機関・公共機関から不動産業・建設業・物流業・製造業・人材派遣業など業種や規模を問わず導入が進んでいます。ワンビシャーカイズでは単純に電子契約サービスを提供するだけでなく、ワンビシャーカイズが長年培った情報資産管理や契約管理業務・電子化作業のノウハウに基づいて、お客様の契約管理全体をサポートいたします。

（※1）「GMO 電子契約サービス Agree」ワンビシャーカイズの電子契約サービスのプラットフォームに採用  
（URL：<https://www.gmo.jp/news/article/6406/>）

「GMO 電子契約 Agree」の名称について、2021 年 2 月 12 日（金）より「電子印鑑 GMO サイン」に変更いたしました。

# Press Release



## 株式会社ワンビシャーカイブズについて

ワンビシャーカイブズは、1966年の設立以来、一貫して『企業の情報資産の安全確保と管理の効率化』を追求し、堅固なセキュリティ体制のもと、重要な情報資産(機密文書、医薬品開発関連資料、永年保存の歴史資料、テープ等の記録メディア、デジタルデータ、細胞・検体試料など)の発生段階から活用、保管、抹消までのライフサイクル全てをカバーした総合的サービスを提供しています。現在では東京・大阪・名古屋・九州に営業拠点を置き、官公庁や金融機関・医療機関・製薬業をはじめとした4,000社以上のお客様にご利用いただいております。2017年には書類とデジタルの両方をカバーする新しい書類保管サービス「書庫探」をリリースし、お客様の働き方の変革をサポートできるサービスを提供しています。

### 【参考 URL】

電子契約サービス「WAN-Sign」システム連携ページ

(URL : <https://www.wanbishi.co.jp/econtract/system/index.html>)

## Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,200 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、武田薬品、Teach for America、Twilio を含む 14,000 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>